

議会だより 第105号

群馬県昭和村議会

令和4年4月15日 3月定例会



Contents

- 2~3 令和4年度予算
- 4~7 3月定例会
- 8~13 議員出前懇談会
- 14~17 全協・各常任委員会
- 18~22 村の姿勢を問う

7,000万円 (前年度比0.4%増)

に約6億円を計上

ではあるが、将来を見据えた持続可能な行財政運営を推進し、庁舎の建設、保育園の完全給食の実施、獣害防止柵設置補助金を承認した。

歳入

自主財源

村が独自に確保できるお金。繰入金、村税など。

繰入金

基金を取りくずして繰り入れるお金。

村税

村民税や固定資産税、軽自動車税など。

依存財源

国や県の判断により割り当てられるお金。地方交付税や村債など。

地方交付税

ある一定の基準で国が市町村に支給するお金。

地方譲与税

国税として徴収したものを、市町村に対して譲与するお金。

国庫支出金

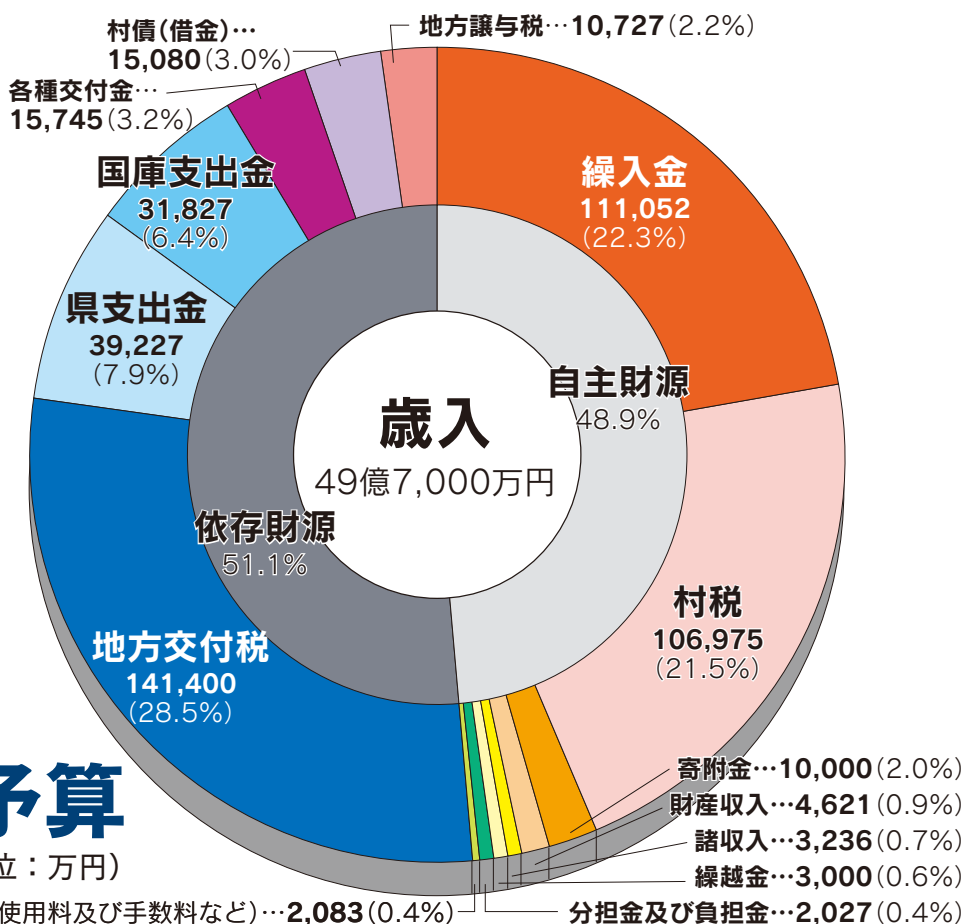
国から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

県支出金

県から市町村へ特定の事業に対して支給されるお金。

村債

事業を行うために村が借入れるお金。



計予算

(単位：万円)

特別会計予算

(前年度比5.1%増)

総額 26億5,926万円

国民健康保険特別会計	12億5,499万円
簡易水道事業特別会計	1億4,373万円
農業集落排水事業特別会計	3億2,417万円
介護保険特別会計	8億4,009万円
後期高齢者医療特別会計	9,628万円

令和4年度 予算

予算総額 49億

新庁舎建設事業継続

コロナ禍により村民税や普通交付税の減少が見込まれる中新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、役場新の創設など、限られた財源の中で各種事業に取り組むこと

歳出

議会費

村議会運営の経費や議員報酬など。

総務費

人件費や事務費、微税費、戸籍費、選挙費など。

民生費

社会福祉費や児童福祉費、老人福祉費など。

衛生費

コロナワクチン接種費や保健事業、ゴミ処理のための経費など。

農林水産業費

農林業の振興や鳥獣害対策、土地改良事業などの経費。

土木費

村道や橋梁の整備、砂防工事、除雪費用など。

消防費

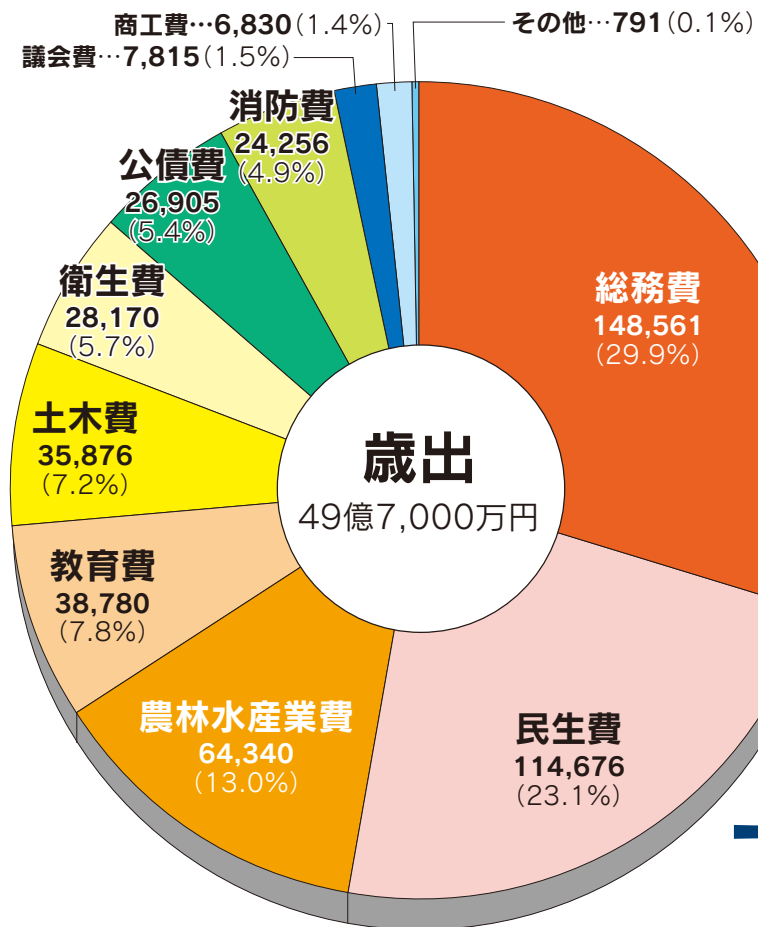
消防・防災施設整備の経費(消防団の運営など)。

教育費

小中学校の管理費、講演会・各種スポーツ大会などの経費、給食費など。

公債費

事業をするために借り入れた村債の元金・利子の返済金。



一般会

ふるさと納税活用事業

総務課

- ・特産品返礼事業
- ・消防団装備整備事業
- ・行政区管理事業

企画課

- ・道の駅管理運営事業
- ・昭和の森管理運営事業

保健福祉課

- ・敬老祝金支給事業
- ・誕生祝金支給事業
- ・保育園完全給食化備品整備等費用

産業課

- ・獣害防止柵等の設置補助事業
- ・商工会育成強化補助事業

建設課

- ・新築住宅補助事業
- ・交通安全対策事業

教育委員会

- ・特別支援教育指導員等配置事業
- ・ふれあいグリーンパーク遊具設備等事業
- ・給食センター食器等消毒保管庫改修事業

補正予算

令和3年度昭和三村一般会計補正予算(第8号)について

4億1千10万4千円を増額

総額

66億5千799万5千円
緑の大地ふるさとしよう基金積立金4億円、道路維持除雪作業費7千万円、農業振興事業、行事等が減り6千300万円減

令和3年度昭和三村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

605万9千円を減額

総額

13億2千253万4千円
出生数の減少のため出産育児一時金を630万円減

令和3年度昭和三村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

159万2千円を減額

総額

1億6千643万4千円
水道施設補修工事の減

令和3年度昭和三村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

1千311万3千円を減額

総額

3億2千152万5千円
施設修繕及び維持管理委託料の減

令和3年度昭和三村介護保険特別会計補正予算(第3号)

4千313万5千円を減額

総額

8億5千367万5千円
介護老人福祉施設の利用者減少のため

令和3年度昭和三村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

250万6千円を減額

総額

8千694万6千円
広域連合納付金減少のため



ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

ロシアは去る2月24日ウクライナへの侵略を開始した。そして、首都キエフをはじめ、ウクライナ全土への攻撃を行っており、多数の民間人を含む人々の命が奪われている。武力により人命が奪われることはあってはならないことであり、最も強い言葉で非難する。

今回のロシアによるウクライナへの侵略は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。力による一方的な現状変更は断じて認められない。

よって、本村議会は、ロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明するとともに、即時の攻撃停止と完全撤退を強く求めるものである。以上、決議する。

令和4年3月8日

群馬県昭和三村議会

臨時議会

2月3日臨時議会が開催され、承認1件、議案3件、計4件が提出され、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

承認

令和3年度昭和三村一般会計補正予算(第6号)(専決)

1千万円を増額

総額

60億4千678万4千円
国の子育て世帯への臨時特別給付金の対象外となった世帯に村単独事業として、子ども1人につき10万円を給付

補正予算

令和3年度昭和三村一般会計補正予算(第7号)

2億110万7千円を増額

総額

62億4千789万1千円
住民税非課税世帯等に一世帯10万円を給付する臨時特別給付金

6千880万円
小中学校に電子黒板を追加整備

740万円
ふるさと納税を財源に全村民へ1万円の商品券を配布

令和3年度昭和三村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

913万6千円を増額

総額

1億6千802万6千円
コロナ対応により、4年度第1期から第3期までの基本料金とメーター使用料を減免するため基金へ積立

令和3年度昭和三村農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

1千120万4千円を増額

総額

3億3千463万8千円
コロナ対応により、4年度第1期から第3期までの基本料金を減免するため基金へ積立

提出された議案等と賛否一覧

沢浦典子 林勝美 倉沢つかさ 阿部孝司 片柳悦夫 林祐司 林幸司 横坂末吉 永井一行 加藤生 藤井貞充

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。

第2回定例会（令和4年3月8日～17日）

議案番号	議案内容	沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	林祐司	林幸司	横坂末吉	永井一行	加藤生	藤井貞充
発議第1号	ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第32号	昭和村農業委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	昭和村情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	昭和村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	—
議案第8号	昭和村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	昭和村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	昭和村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	—
議案第11号	昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	昭和村固定資産評価審査委員会条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	昭和村消防団に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	昭和村消防団員報酬る条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	昭和村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	昭和村通所介護施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第33号	昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	村道路線の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—
議案第18号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和3年度昭和村一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	令和3年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	令和3年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	令和3年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	令和3年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	令和3年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	令和4年度昭和村一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議案第27号	令和4年度昭和村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	令和4年度昭和村簡易水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第29号	令和4年度昭和村農業集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。

		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	林祐司	林幸司	横坂末吉	永井一行	加藤生	藤井貞充
議案第30号	令和4年度昭和村介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第31号	令和4年度昭和村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第34号	昭和村教育長の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第35号	昭和村教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

令和4年度 重点事業ピックアップ



獣害防止用ソーラー電池

みんなが進める自主・協働のむらづくり
 新庁舎建設事業（継続費2年目）
 5億9千884万円

子育て応援・教育重視のむらづくり
 保育園完全給食化事業
 481万円
 「園児全員が完全給食となります。保護者の費用負担はありません。」

ふれあいグリーンパーク
 遊具設置事業
 600万円

給食センター食器等消毒保管庫改修事業
 1千500万円



役場新庁舎3階

生涯安心 健康福祉のむらづくり
 福祉センター事務所等改修事業
 585万円

農業を基幹に元気産業のむらづくり
 農作物獣害防止柵等設置助成事業
 300万円
 「電気柵等を設置した場合1世帯7万円を限度に補助。補助率1/2」

道の駅施設整備事業（設計）
 300万円

安全で生活便利なむらづくり
 消防ポンプ車等購入事業
 4千604万円

高齢者等住宅用火災報知器設置支援事業
 500万円

空き家解体助成事業
 250万円
 「空き家を解体する工事費用を補助。限度額50万円。工事着手前に申請が必要。補助率1/2。」

橋梁等維持管理事業
 7千550万円

令和3年議員出前懇談会

要望に対する回答

松ノ木平第二住民センター 11/25

トイレの洋式化について

村民…望郷ライン「そば処あかふ」の上の公衆トイレを和式から洋式にしてほしい。

議会…村全体の観光トイレについて、計画的に洋式化を進めていただきたい。

【建設課】…多目的トイレは洋式になっているので、そちらを利用していただきたいと思います。

バス停周辺の安全対策について

村民…古澤りんご園近くのバス停は、大規模農道に設

置されており、道が良いため車がスピードを出してしま

まいバスを待つ子ども達の安全が心配されます。このことから、車がスピードを抑えるような表示など安全対策をお願いします。

議会…事故が起きる前に安全対策を講じること。

【総務課】…村では昭和村安全協会による看板設置などにより、交通安全対策を講じております。ご指摘の広域農道では、スピードを上げた車が多く走っており、現地のバス停を見てまいりましたが、より一層の安全確保が求められますので、早急に看板を設置したいと考えております。

【建設課】…看板設置又は路面標示等で対応していきたいと考えております。

3人目の子どもを安心して産める制度を創ってほしい。

村民…2人の子ともがいる世帯でもう一人(3人目)が欲しいと考えている世帯は、結構いると思うが生活費など養育費のことを考えると躊躇(ちゅうちゅう)してしまうと思う。3人目を安心して産める制度を創れば、出生率も上がるのではないか。

議会…村独自施策の創設を検討するほか、国や県など関係機関へ制度創設を要望してはどうか。

【保健福祉課】…現在、子育て支援策として、保育園の第2子以降の保育料無償化と新生児誕生から2歳の誕生日までは、オムツやミルク等の購入費補助として、年間4万8千円を支給しております。

また、令和3年度より「あかちゃん誕生祝い金」制度を創設し、お子様のご誕生

の祝い金として1人10万円を支給し、経済面での支援をしております。

国においては、高額となる不妊治療費なども保険給付の対象にする予定であります。村としても引き続き、関係各位と協力しながら、更なる子育て支援を図って行くこととしています。



望郷ラインの延長 について

村民… 渋川市赤城町まで延長してほしい。

議会… 利根地方総合開発協会等へ要望として上げては

地域活性化センター

11/29



どうでしょうか。

【建設課】… 望郷ラインに関する事業は終了しており、新たな事業等が活用できないか検討していきたいと考えております。

道の駅あぐりーむ 沼和について

村民… 駐車場を拡張したのに代わり映えがない。お客様は、変化に興味がある。これを機に何かに取り組みべき。旬菜館の売り場が狭い。コロナの影響で通路のスペースも必要だし、レジ前のお客様同士のスペースも必要だ。リニューアルをして欲しい。カートの置き場を入口に設置したが、苦肉の策である。

議会… 旬菜館西側の花置き場を活用するなど会社及び村当局は知恵を出し、さらに黒字を求めて事業を進めていただきたい。

【産業課】… 旬菜館については増改築を検討しており、令和4年度当初予算において設計委託費を計上させていただきます。

岩本駅と道の駅の アクセスについて

村民… お客様から電車を利

用し、岩本駅から道の駅あぐりーむ沼和へ向かう方法を尋ねられるが、徒歩かタクシーと答えざるを得ない。バスを岩本駅まで乗り入れることはできないか。

議会… バス利用関係のアンケート調査が終了したことは承知している。改善策等を早期に実行していただきたい。

貝野瀬構造改善センター

11/30

除雪路線について

村民… 横坂先夫さん宅前の道を除雪路線に加えることはできないか。

議会… この箇所にかかわらず、村全体の除雪路線を見直してはどうでしょうか。(以前は除雪を必要としたが、時代の変化等により除雪の必要性が少なくなった箇所や地域の除雪協力者等にお願いただける場所等を含め見直す。)

【企画課】… 現在、路線バスのデマンド運行導入を検討しておりますが、駅や病院、商業施設等、主要場所を停留所として指定していくことを想定しております。また、沼田市がデマンド運行の実証実験を予定しておりますので、情報交換等連携を図りながら実現に向けて関係機関と協議を進めてまいります。

【建設課】… 新たに除雪路線に加えてもらいたいといった要望は建設課にも届いております。見直しに関しては、不要な道路が出てくれば適宜対応していきます。村としては幹線道路を中心に実施したいと考えておりますので、集落内の生活道路に関しては、国・県・村から交付金を配布している多面的機能支払交付金事業を活用していただくなど、別の対策を検討していきたいと考えております。

イベント・行事について

村民…コロナウイルス感染症によりイベント・行事が簡素化されていると思う。行事を吟味した方が良いと思う。

【企画課】…例年5月に開催している河岸段丘ハーフマラソンについては、令和4年度の大会も延期が決定しておりますが、参加ランナーや大会関係者、ボランティアスタッフ及び村民の皆様への安心・安全が確保できるまでは、開催するべきではないという実行委員会の意見でございます。また、昭和の秋まつりですが、村内外の不特定多数の人を呼び込み、こんにゃく大鍋や、各種出店など、食をメインとしたイベントですので、開催にあたっては、来場者や関係者の安全安心を確保できるよう、実行委員会で慎重に協議して判断して参ります。冬のイベントであります、ウィンターフェスティバル

農地転用については、原則として認めないこととされています。しかし、事業の目的、事業主体、事業の実施地域等からみて事業実施が確実であると認められる一定のものについては許可の対象とされていますので、村や土地開発公社などが事業主体となり詳細かつ具体的な計画のある住宅分譲地であれば農地転用も可能であると思われる。

次に住宅用適地を農業振興地域の農用地区域から除外しておくことが考えられますが、そのためには、土地の選定、土地所有者の合意形成、村の計画策定、県知事との協議及び同意等が必要となると思われますが、実施手続き等について県の担当によく確認し、実施できるか検討したいと思えます。

なお、農用地区域から除外することにより、あつせんによる特別控除等の税制優遇措置は受けられなくなりますので注意が必要となります。

議会…人口減少対策は、本村において重要な施策であり、定住・移住の促進のためには、住宅用地等が必要になると思われますが、適地には農地法等の規制が掛かっている場合が多く、定住・移住のハードルを上げてしまっていることが考えられます。そこで、農地法等を準拠しつつ、住宅用適地を選び農地法等の規制を解除しておく、定住・移住者がすぐにも宅地を選び住宅を建設できるようにしておくことが重要ではないでしょうか。

【企画課】…住宅建築に適当な村有地を宅地として分譲するなど、定住・移住を促進するための効果的な支援施策について、関係各課と検討し、その推進に努めます。

【産業課】…住宅用適地を選び農地法等の規制を解除しておくことについては、まず住宅分譲地が考えられませんが、農地転用許可制度では、住宅の用に供される土地の造成のみを目的とした



貝野瀬構造改善センター

J A 南部支店

人口を増やす方策について

村民…人口を増やすため、村が分譲地を造成したり、何らかの方法でストックしたりして、希望者に販売してはどうか。家を建てたいと思う人がいても、なかなか建てる場所を見つけれ

るのが難しい。土地が見つかったとしても農地法等の許可を得るまでに時間が掛かってしまう。よって他の自治体へ行ってしまいうことも考えられる。昭和村は、星がきれい。水がうまい。きつと住みたいと思う人がいるのではないか。

12 / 2

は、今年については、花火をあげる会で検討した結果、昼間のイベントは行わず、密にならないよう一日3カ所で3日間に分けて開催するなど、コロナ対策に取り組んだ開催を行っております。

【教育委員会】…現在、新型コロナウイルス感染症の流行により、各種イベント・行事が中止になってしまい、それに関わる団体の活動も停滞しておりますが、各部団体において、各々対策を行いながら活動をしていただいております。

今後のイベント・行事の開催については、主催団体と協議をしていきたいと考えております。

また、村主催の村民運動会については、スポーツ推進委員協議会で協議しております。来年度については時間を短縮するなど、内容等について現在検討しております。

路線バスについて

村民…路線バスはスクールバスを兼ねていると思うが、スクールバスを出してほしい。(空きの状態で路線バスが運行されていることが気にかかる。)



JA 南部支店

【企画課】…現在検討している路線バスのデマンド運行計画では、通学の移動手段を確保するため、始発及び最終便については定時定路線のバス運行を継続し、日中のバスについてはデマンド運行を導入する事を想定しております。そのため、日

中のバス運行は予約制となり空き状態でバスが運行される状態は改善される見込みです。

コロナ経済対策について

村民…村独自の支援策をお願いしたい。(再度…プレミアム商品券など)

【企画課】…新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、コロナの影響を受けた飲食店や観光業等の事業者への給付金事業や、原油価格の高騰に伴い家計への負担が増加している住民税非課税世帯等への給付金事業、施設園芸農家への助成事業、村内世帯や事業者等の上下水道基本料金等の減免事業を実施いたします。また、ふるさと納税の寄付金を活用して、2月中に昭和村商工会の商品券を全村民ひとりに1万円分を配付させていただきました。

インフラのメンテナンスについて

村民…近年は異常気象によりインフラに甚大な被害がおよぶ可能性が高い。道路の穴うめや雨対策、側溝の管理、倒木の恐れがある木の事前伐採など、日頃の管理をしっかりと行い、被害を最小限に食い止めてほしい。

【建設課】…日常的にパトロール等を行い、適宜対応していきたいと考えております。



道路愛護について

村民…道路の落ち葉を片づけるため、「ブローア」を村が貸し出すことは出来ないか。

議会…年々、道路愛護作業者の高齢化が見受けられます。便利な機械等是可以

範囲で村が用意し貸し出すなどして作業の効率を図るべきと思います。

【建設課】…各地区によって求めている機械は違う可能性もあり、村で一律同じ物を用意することは難しいと思いますので、国・県・村から交付金を配布している



多面的機能支払交付金事業を活用するなど、対策を検討していきたいと考えております。

通学問題について

村民…子どもの数が減ってきているため、通学の班が編成できない。永井地区の子どもは路線バスで通学できるが、入原の清水地区の子どもは、永井地区と数百メートルしか離れていないのに路線バスでの通学が出来ない。バス補助金の見直しも含め、路線バスでの通学ができるようにしてほしい。

議会…柔軟な対応をお願いします。

【教育委員会】…小学校の通学班については、地域によっては児童数の減少により通学班の編成が難しく、以前よりも広範囲で班の編成をするなどの工夫をして集団登校しているところがございます。入原区については、現在児童が7名おり、

2班集体で徒歩通学を実施しております。

また、バス通学については、遠距離通学の補助要綱に添い、4km以上、または、4kmに満たない距離でも旧永井分校・旧超越分校と学区が同じもので実施をしております。入原清水地区までは学校から2・8kmとバス通学の範囲より学校に近く、南小学校区では遠い方になるかと思いますが、村内の3つの小学校を鑑みますと同程度やそれ以上の遠方より集団登校で徒歩通学をして来る児童がおります。

このことから、柔軟な対応をとることはあります。が、現時点では当該地区からのバス通学のみを許可することは、公平性の観点からも難しいことではございます。

ただし、今後児童数のさらなる減少により、通学班の編成が困難になった場合は、学校とよく相談しながら集団登校およびバス通学については検討していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

空き家について

村民…入原地区でも空き家があるが、片付けが大変だったり、処分にお金がかかったりで、活用にはならないことが多い。

議会…空き家の活用を促進できるように方法の検討をお願いします。

【企画課】…現在、空き家の活用については、「空き家バンク」への登録を広報やホームページを使い呼びかけているところですが登録件数が伸びておりませんが、更に周知を進めて参ります。また、空き家解体の経費について補助金の検討をしておりますので、後日ご説明をさせていただきます。



大河原住民センター

12 / 7

鳥獣対策について

村民・役場に専属の部署を置き対策をとってほしい。通学路にもクマがでる。春先と秋にカラスが大量にでる。望郷ライン沿いにもイノシシがでる。民間業者や大学など関係機関の協力を得て鳥獣対策をとってほしい。

議会・子ども達に何かあったらどうするのか。しっかりとした鳥獣対策を望みます。

【産業課】・有害鳥獣の駆除等については、猟友会に依頼しており、会員の皆様にはご尽力をいただいております。ご意見にあります通学路に出るクマにつきましては注意喚起や檻を設置し、カラスにつきましては集中的に捕獲をすべく、直近では2月15日と21日に銃器により実施しております。また、イノシシにつきましては、住民からの通報等により即時わなを設置し

て対応しております。今後につきましても、猟友会と連携し、効率的な捕獲や捕獲機材の導入について検討して行きたいと思っております。

中学校のスクールバス運行の検討について

村民・現在、大河原地区周辺の生徒の通学方法は、路線バスや自転車、家族の送迎等となっている。路線バスについては、金銭的な負担が多いことや時間的制約等があり不便である。自転車、家族の送迎等はそれぞれ負担が大きい。このような状況を理解していただき見直しなど出来るところから取り組んでいただきたい。

議会・早期の対応を望みます。しっかりとした回答を示していただきたい。

【教育委員会】・中学校のスクールバス運行につきまし

ては、現時点ですぐに対応をすることは、既存の路線バスの関係や費用等の問題もあり、早期の対応は難しいと考えており、現在進めております学校の在り方の検討とともに慎重に協議し進めていきたいと考えております。

しかしながら、保護者に負担していただいているバスの代については、遠距離通学の補助要綱により実施しているものですが、近隣の市町村でも学校の統廃合に絡み、スクールバスの運行の拡大が行われております現状を考えますと、スクールバス実施の前に、保護者負担については、要綱を改正し、負担軽減をしていくべきかとも考えております。

つきましては要綱改正については、村にも協力をいただかないと実施出来ないことから、学校、村ともよく相談をしながら、徒歩で通学する生徒、自転車で通学する生徒、バスで通学する生徒とのバランスを図りながら前向きに検討していきたいと考えております。

通学路の安全対策について

村民・大河原小学校校区の道路側溝は、深いものが多く降雨時には、相当の水量があり、間違って落ちてしまうと大変危険である。側溝にフタを掛けるなど安全対策を講じてほしい。

議会・特に追分と赤谷の縦道が悪いと思う。具体的な対策を示してほしい。

【建設課】・状況を把握し、教育委員会や通学路安全対策推進会議の中で検討していきたいと考えております。



全員協議会

1月・2月・3月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

1月19日

第3次新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

交付限度額7千390万3千円、令和3年度事業予算額5千659万3千円。各事業につき説明を受け協議する。

国土強靱化計画について

玉野総合コンサルタント(株)より説明があり多方面の内容を協議する。

子育て世帯への臨時特別給付金の支給状況について

支給対象者1千31人、12月補正予算額9千950万円。専決予算額1千万円(所得制限撤廃分)。
高校生及び公務員世帯は、申請が必要との説明を受け協議する。

新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)について

集団接種を受けた方は保健センターにて2月26日から3月26日までの間で接種予定。個別接種を受けた方は希望する病院にて予約。集団接種のワクチンはモデルナとの説明を受ける。

2月28日

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

燃油購入費の一部補助。補助対象者は施設内等でA重油、灯油を使用する個人事業主及び法人。年間の農作物販売額50万円以上又は認定新規就農者。A重油又は灯油の購入量1万リットル以上30万円、5千リットル以上1万リットル未満20万円、3千リットル以上5千リットル未満10万円、1千リットル以上3千リットル未満5万円との説明を受け協議する。

新庁舎建設工事の進捗状況について

工事内容について説明を受ける。
進捗率は建築27・7%、設備・電気5・0%

企業誘致について

関屋工業団地内用地1万1千88㎡の内3千800㎡について、(株)新鮮便佐藤社長より冷蔵倉庫建設用地として取得の申し込み。予定価格は平地8千895円/㎡、法面半額との説明を受け協議する。

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

・気象災害により農地の表土等が流出した箇所
・農地は原型復旧を基本。基盤土の積み込み、運搬等は申請者が行う。
・実施手続は産業課。
との説明を受け協議した。

3月15日

資産運用について

村の基金の一部(1億円)を資産運用してはどうかと説明を受ける。

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

消防団員欠員分団対応。階級は団員、任期2年。団員報酬は団員の2分の1との説明を受ける。

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

70歳以上の高齢者世帯と障害者手帳の交付を受けた者が属する世帯。一世帯3台まで、警報器一台当たり1万1千円まで補助との説明を受ける。



火災警報器

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

補助金額は検定料の2分の1。補助金の交付は、毎年度一人につき一回の検定料。交付対象者は、村内に住所を有する小・中学生の保護者との説明を受ける。

昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

検討委員会は令和4年3月までに計7回会議を開催し、「管内の小学校を統合すべき」との結論に達した旨を村長に答申したとの報告を受ける。

新庁舎建設工事の進捗状況について

地震計の移設工事、パラボランティアの設置、電話機器、雨量計等2千200万円を電気設備工事に追加したい旨の説明を受ける。

押印廃止等に係わる昭和三井建設園芸燃油価格高騰緊急対策事業補助金について

デジタル化の推進により1千177例規を見直す説明を受ける。

昭和村空き家解体補助金交付要綱について

空き家解体工事一件につき50万円を上限に補助金を交付するとの説明を受ける。



利根沼田ブロック一般廃棄物処理の広域化について

令和4年度から構成市町村で廃棄物の共同処理をするための検討・協議を行うとの説明を受ける。

昭和村獣害対策防止柵等設置事業補助金交付要綱について

有害獣による農作物被害防止対策のために電気柵を設置した場合、一世帯7万円を限度に補助金を交付するとの説明を受け協議する。

視 察 ・ 調 査 ・ ト ピ ッ ク ス

昭和村消防団出初め式

令和4年1月8日 午前10時 多目的屋内運動場に於いて、昭和村消防団出初め式が行われました。村長以下各分団三名の出席のもと村内の平穏無事を祈念いたしました。



昭和村成人式

令和4年1月9日 午前10時 昭和村公民館に於いて、第64回成人式が挙行されました。新成人77名の出席のもと代表2名の方が青春メッセージを読み上げ、成人としての自覚を確認していただきました。



昭和村賀詞交歓会

令和4年1月10日 午前10時 昭和村公民館にて、新年賀詞交歓会を行いました。「みんなでつくろう元気な昭和村」を合言葉に、参加者一同が新年の挨拶を交わしました。

全国町村議長会長表彰

藤井貞充議長は令和4年2月17日 群馬県町村議長会定期総会の席上、議会運営及び地域の振興発展に貢献し、その功績が顕著であったと、全国町村議会議長会長より表彰を受けました。



総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

所管事務調査の実施

3月11日に、総務民生常任委員会を開催し、村長をはじめ担当課長及び係長に対し質問、協議、提案をした。

テーマ 少子化を止めるためには何をしたらよいか協議した。

現状 子どもの出生数が令和元年度48人、2年度37人、3年度(2月末で)34人との報告を受けた。

共有認識 出生数の減少が予想を上回るスピードで進んでいる。
危機的状況であると認識した。

協議

1 若者に移住・定住をしよう

『村外から人を呼べる環境をつくる』には、どうしたらよいか協議した。

(1)家を建てる場所を考える。

『子育て世帯が希望する場所を考えてみる。』

- ① 学校の近く。
- ② 商店がある。
- ③ 交通の便が良い。

④ 環境(きれい)が良い。
⑤ 住んでくれる人に特典を与える。

(2)村で建売住宅又は宅地を用意できないか検討した。

① 空き家(現在確認されている空き家は169件)との報告を受け、利用を検討した。
・空き家を村が買い取り、取り壊しをして宅地化する。(取り壊し後であれば、農地法の規制が無いこと。また、上下水道が整っていることが期待でき早期に宅地として提供できるのではないか。)

② 民間が、建売住宅を販売する方法もある。

(3)農地転用許可制度の見直しを考える。

村独自で農地転用許可ができるようにならないか。(住宅用地を探すところから始まり、農振除外申請、農地転用許可申請など家を建築するまでに2年くらい係ってしまう場合がある。手続きを早く済ませる方法

はないか。)

2 昭和村での仕事を考える。

農家ではパートや実習生を頼むほど人手が足りない。待遇や条件を考えて働いてもらうことも考えられる。

3 役場内に「少子化対策チーム」を設置してはどうか。

副村長がリーダーとなり、各課の連携を図り、専門で少子化対策にあたる部署を作ったかどうか。

4 その他の協議

(1)出会いふれあい事業について
提案 出会いの前にお互いの情報がある程度示すことにより、打ち解けるのが早いのではないか。
村答 マッチングアプリなどを使い情報をお互いに共有していく。

(2)アップルタウンについて
提案 3棟の空きがあり、築18年が経過している。家賃を値下げしたらどうか。

(3)空いている工業用地について
提案 ドックランや健康公園など作れないか。
村答 企業局との取り決め等があるため無理だと思う。

(4)ふるさと納税返礼品について
提案 返礼品について、物品以外で招待券のようなものでもありではないか
村答 河岸段丘マラソンの参加費を返礼品としている。

(5)健康診断の受診者が少ないと思う
村答 五十代、六十代の人には特に進めたいと考えている。

(6)ふるさと大使の役割は
村答 昭和村の魅力を全国に発信し昭和村のPRをしていただいている。

(7)窓口業務の時間延長はしてもらえないのか。
村答 現在でも電話予約により、適宜、対応している。

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

所管事務調査及び現地調査の実施

3月14日に、文教産建常任委員会を開催し、所管事務について、村長をはじめとする担当課長及び係長に質問をし協議した。その後、村内の完成した施設などの現地調査を実施した。

主な協議内容

【教育委員会】

○学校のパソコン教室のパソコンを役場で再利用することについて

GIGAスクール開始により、一人一台端末利用となった。よってパソコン教室のパソコンが不要となるが、リース期間が残っているため、役場で利用するとの説明を受ける。

○戦国時代のお城である長井城址について

現状の管理は維持作業のみで、今後については、具体的な整備計画はないと説明を受ける。

歴史ある城と場所を維持するためには、民有地となっている土地を村が購入し管理していく必要があるのではと提言した。

【建設課】

○村内給水エリアと水質検査について

水質検査については、定期的に基準の項目で行い、安心で安全な水の供給がなされている。給水エリアマップは後日配布とする。

○側溝に蓋がなく危険な道路を安全に通れるようにしてほしい。

現地調査を行い、対策を検討する。

現地調査

【農業集落排水 糸井・三ツ谷地区処理施設】

施設改修工事が令和3年11月に終了し、排水処理された安心な水が、片品川へ放流されていることを確認した。

【南部簡易水道施設】

永井・入原地区の代替水源施設として進められていたさく井工事が令和3年7月に終了し、水道施設が完成した。

現在安全で安心な水を供給するための試運転が行われているとの説明を受け確認をした。

【貝野瀬田岸地区土砂崩復旧工事箇所】

令和3年7月の集中豪雨で崩れた河岸段丘の復旧工事が群馬県の補助を受け、令和4年3月に完了した。

大雨による崩れ、下段の民家への被害が今後おきないように対策が取られていることを確認した。



糸井・三ツ谷地区処理施設



南部簡易水道施設



田岸地区土砂崩れ復旧現場

指定プラの回収日を増やせないか

村長 現状維持



沢浦 典子 議員

問 ごみをきちんと分別したら可燃ごみは圧倒的に減ると思うが指定プラの収集日は二ヶ月に1回〜2回。収集を週に1回くらいに増やすことはできないか。又、住民の皆さんに対して分別の意識を高めるためなどのような対応をしているのか。

問 指導しても分別が進まなければ意味がないと思う。分別の指導から最後の回収まで面倒を見てもらえないのか。

答 村長 指定プラは資源ごみの集団回収で行っており、回数を増やす予定はない。分別方法の理解を深めてもらうためにハンドブックを配布し協力をお願いしている。要望があれば地域に出向き説明をしていきたい。

答 村長 できることを工夫してやっていきたい。

問 コロナ禍で自分の健康を考える人が多くなってきたようで歩いている人をよく見かける。野外で気持ちよく体を動かしている人に、健康遊具として休むためのベンチがあれば楽しみながら体を動かすことができると思う。

答 村長 多くの方々が健康づくりをしていける様に支援していきたい。用具が設置できる場所を検討し進めていけるよう心掛けたい。

健康づくりをするために キツカケを



集められた指定プラ

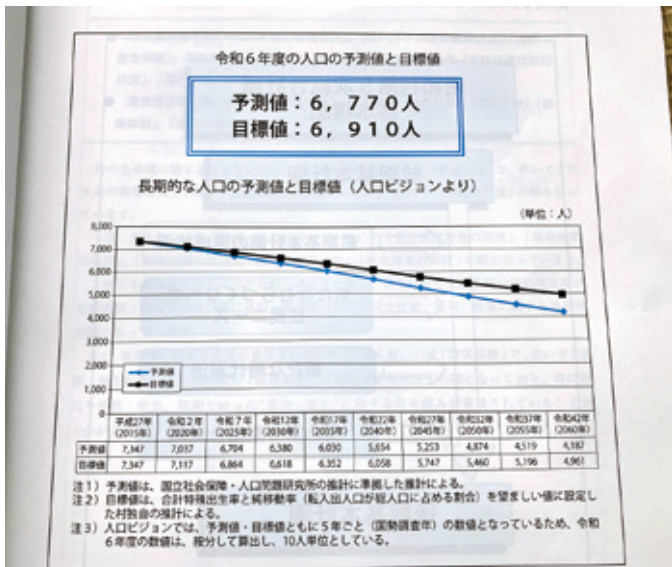




林 勝美 議員

昭和村の将来に向けての準備は

後長 後期基本計画に沿って進めます



第5次総合計画後期基本計画より

問

人口減少に歯止めをかける対策は？

答
村長

少子化対策として多岐にわたり取り組んでいます。不妊治療費補助、誕生祝い金、保育料や給食無料化、定住促進のための補助金を出しています。子育てに優しい昭和村として効果が出てきています。

問

20年後は人口5000人台になると予測されているが、次世代に村を託すための準備はできているのか？

答
村長

その時代ごとの状況に応じた組織改革を実施し住民サービスの低下をなくし、総合計画の基本計画を達成するため、検証・改善を図りながら目標達成に向け邁進していきます。

問

村民の健康を守るための取り組みは？

答
村長

2019年3月に「しょうわライフプラン」を策定し、生活習慣病の発症や重症化予防、食生活や運動習慣の定着を図ります。特定検診では早期発見のための健康診断を行い、保健指導や医療機関受診につなげています。

答
村長

へのアプローチは？

残念ですが働き盛りの世代の方たちで、健診や人間ドックに行かない方も散見されている状況です。そこで健診内容を明確化させた勧奨通知に切り替え、村民が健康で安心した生活が送れるよう勧奨と周知を図っていきます。

問

引きこもりの方たちの現状とその支援について

答
村長

様々な理由から学校、仕事といった外部との交流をさげ家庭にとどまり続ける方たちの支援につきましては、家族や親族からの情報をもとに、対象者の気持ちをお聞きすることから支援を始めています。家族を含めた全般の支援を行っています。

問

働き盛りの世代の方たちが、病気で亡くなっているのが気になります。この世代の方たちへの健診勧奨と受診





加藤 生 議員

道路安全対策について

村長 計画的に外側線設置



道路整備を進めながら外側線も含め実施したい。

答
村長

問 道路台帳を活用し、総合的な計画を立て執行していただきたい。

答 令和元年度から5km前後実施しているが、設置する線よりも消えていく外側線が多く、今後は計画的な外側線設置工事を実施したい。

問 外側線消去による対策について

答
村長

問 今後の村人口の減少を見据えた中で、税収や村の身の丈にあった財政規模、また住民サービスをどの様に考えているのか。ふるさと納税の新たな目玉となる対策は。

答
村長

身の丈にあった財政規模について、本村の人口は令和2年国勢調査で6953人となり、税収や地方交付税の歳入が減少し財政規模も小さくなる

答
村長

が、行政サービスの質は落とさないよう努めます。ふるさと納税返礼品は、なるべく多種の返礼品を扱いたい。新たな返礼品の掘り起こしを行っていきたい。

財政需要のハード

学校の在り方検討委員会から村長に答申しており、議会全員協議会で説明したい。児童生徒が集団の中で多様な考えに触

答
教育長

有効な手だては考えているのか伺います。

問 村の人口が7千人を割り6995人となり、令和3年度の出生人口は38人位と想定されます。今後も爆発的人口増は期待できません。この先5年から6年すると小学校の存続が危ぶまれます。

れ、認め合い、強力し合い、切磋琢磨し、子供たちにとって魅力ある学校づくりを進めたい。



元気にかけっこ

子育てに優しい村づくりのハード



倉沢つかさ 議員

今後の観光事業の展望は

議長 各種イベントの開催・観光スポットの活用を検討

問

昭和村の自然を資源とした観光事業計画を立てていますか。村内宿泊施設の計画、三か所のビューポイントの活用の具体的な政策の説明をお願いします。特に結婚の森を会場にしたイベント計画があれば教えてください。

答 村長

総合計画で、昭和の森山荘に代わる宿泊施設の整備を施策として掲げています。民間活力の導入・

大手企業に対してビジネスホテルの誘致を行っていますが採算が見込めず建設に至っていません。

オートキャンプ場などのアウトドアに関する問い合わせがあり現在協議中の案件があります。企業版ふるさと納税制度等を活用した企業誘致を積極的に働き

かけたいと考えています。村内三か所のビューポイントについては、今後各種イベントを検討し、村の観光スポットとして活用したいと思っています。



ビューポイント

プラスチック資源循環促進法発令により変わる生活とは

問

この4月にプラスチック資源循環促進法が発令されます。この発令により、村民の生活はどのように変わりますか。

答 村長

資源ごみの分別については、村内36団体が取り組む集団回収により、適正に行われています。今回の法律発令により、分別方法が変わることとあります。引き続きの適切な分別をお願いします。

では制度としては確立していませんが、個別の福祉サービスを受ける高齢者等が家事援助の一環として支援を受けていると認識しています。ゴミの循環については、村民の意識をあげる取り組みも必要だと思えます。

村のゴミの分別の現状・村民への周知方法・ゴミ分別が困難な村民への支援。それぞれについてお伺いします。

次の一手を考えてみたいと思います。



特定プラスチックの一部

村の姿勢 問

一般質問



林 幸司 議員

デマンドバスと 昭和中スクールバス運行を

村長 早期実現に取り組みます。
教育長 負担軽減を前向き検討

問

庁舎や学校在り方と同様に、関係者を加えた委員会で、本格的な議論を開始し、当面は生徒の路線バス料金を無料化し、早急にデマンドバスと中学校スクールバスを運行するよう求めます。

答 村長

路線バス利用者が極めて少ないことから、区長会や老人会、PTAなど関係住民代表にもご参加いただき、新年度の早いうちに計画をまとめて、デマンドバス運行の早期実現に向けて取り組んでまいります。

答 教育長

昭和中遠距離通学（5km以上）は58人で、スクールバス運行には年2600万円かかる試算となります。当面は、路線バス保護者負担の軽減を前向きに検討してまいります。



運行が開始される沼田市のデマンドバス

住民センター補助アップを

問

吹張住民センターが全額補助で完成しました。今後は新築3分の2、改築2分の1に補助率を引き上げていただきたい。

答 村長

避難所指定や地域コミュニティの拠点であり検討してまいります。

昭和村史の発行を早急に

問

何度も要求してきたが50周年写真集のみです。

久呂保・糸之瀬・赤城根の各村史をデジタル電子版として再発行、全戸配布するよう求めます。生き証人がご健在な今こそ村史発行に着手するよう求めます。

が必要になります。

デジタル電子化は良いことですが検討が必要であると考えます。

「昭和村の歩み50周年記念誌(写真集)」において、村史は作成されたものと解釈しています。

答 村長

村史として残すことは大変重要だと考えます。皆さんのご意見を伺いながら対応を考えていきます。

答 教育長

川場村史は6千万円かかっており、期間5〜8年、費用年1〜3千万円



問

中学校スクールバス運行の検討について

中学校への生徒の通学方法は、路線バスや自転車、徒歩あるいは家族の送迎等です。路線バスは金銭的負担が大きいことや待ち時間や乗車時間など時間的制約等も多く不便を感じる人は、家族等の送迎としていますが、送迎する人の負担は大きいものとなってしまいます。

また、自転車や徒歩の場合、冬季は日が短いため、暗い夜道となりさまざまな危険が想定されます。

このような状況を鑑み、現状から一步踏み出していきたい。



答

村当局の回答は、中学校スクールバス運行については、既存の路線バスの関係や費用問題もあり早期の対応は難しいが、バス代の保護者負担の軽減はしていくべきかとも考えています。との回答でした。



その後

村議会としては、早急に出来ること(バス代の保護者負担の軽減)を実施するよう村当局に引続き強く要望していきます。

また、スクールバス運行の検討も早期に取り組むよう合わせて要望していきます。



追跡
シリーズ 39

中学校スクールバス

あの
問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの意見要望等は、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

地域でがんばる人



ボランティア活動に関わッマ

角田 侃男さん



(滝久保)

人が本業に精を出すのは、至極当たり前のことではない。しかし生業の合間に他者から喜ばれるようなことをすることで、他から認められ、真の喜びになるのではないだろうか。

私は現職の時、映像を学習の中に取り入れると学習の定着度が確実に高まる事実を知ってから、指導の中で『映像活用による学習の効率化』を中心に研究指導を進めてきました。その延長線上に今があり、趣味の写真として村の写真クラブに関わり、昭和村の良さを他に広めようと『やさしい王国昭和村』フォトコンテストを立ち上げ、昨年まで十年間取り組んできました。利根沼田の写真クラブにも、今会長として取り組んでいます。

「清流の会」では、年間を通して、ホ

タルの水辺づくりや門松づくり、田や稲刈り、冬場の今は薪割りや炭焼きなどに、時間を見つけて、仲間と協力してやっています。



村議会議員に立候補しませんか



現在の村議会議員の任期は、令和4年12月10日までです。これにより、11月22日告示、11月27日投票となりました。

前回の村議会議員選挙では、定数12名のところ9名の立候補にとどまり、欠員分3名が再選挙となっていました。今回は、定数12名を上回る立候補となるよう村民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



編集室から

3月定例会が終わり、年度の当初予算が決まりました。内容について、村当局からの丁寧な説明を受け精査し承認しました。

既に、新年度がスタートしています。いまだ収束に至らないコロナ感染ではありませんが、今何をするのがベストなのか、決められた事を実行するときに今まで以上に計画を練り進める事となるでしょう。それが、村民の幸せの時間になることを願っています。

倉沢 つかさ 記

議会広報編集特別委員会

委員長 阿部 孝司

副委員長 沢浦 典子

委員

片柳 悦夫 林 勝美

倉沢つかさ 加藤 生

藤井 貞充